

浜田林業部トピックス(8月号)

TOPICS 1

全国植樹祭記念造林地をご存じですか？

【全国植樹祭記念造林地とは】

全国植樹祭記念造林地をご存じですか。この造林地は大田市に位置する三瓶山の西の原にあります。昭和46年に第22回全国植樹祭が開催された際、昭和天皇と香淳皇后が島根県の県木であるクロマツの苗木を「お手植え」になった場所を含む一帯の造林地がそうです。

この植樹祭では約15,000人の参加者が、およそ6haにクロマツの苗木19,000本を植樹しました。その20年後、平成3年には第15回全国育樹祭が開催され、今上天皇が当時皇太子殿下としてクロマツの「お手入れ」を行われました。

さらに30年後、令和3年に第71回全国植樹祭が開催され、今上天皇がクロマツをご収穫になりました。ご収穫の跡地には右下の写真の石碑が建てられています。

【記念造林地の管理】

西部農林水産振興センター林業振興課では、定期的に造林地の巡視を行って異常が無いか確認したり、森林組合等に委託して歩道の刈払いや松くい虫防除を行っています。

植樹祭に合わせて造林地の一部は伐採・収穫され、ヤマザクラやオニグルミいろいろな広葉樹が植えられています。

皆さんも機会があれば是非足を運んでみてください！



記念造林地のクロマツ



「島根県循環型林業象徴の地」を示す石碑



歩道（巡視路）の刈払い



広葉樹植栽地のオニグルミ

コラム「全国植樹祭」と「全国育樹祭」

「全国植樹祭」と「全国育樹祭」は、国民の森林に対する愛情を培うことを目的に、全国から緑化関係者等が参加して、全国の都道府県で順番に、各々毎年開催されています。

「全国植樹祭」では、天皇皇后両陛下による「お手植え」や参加者による記念植樹等が行われ、「全国育樹祭」では、皇族殿下による「お手入れ」や参加者による育樹活動等が行われます。